

まちづくり事業開発プログラム（ソーシャルビジネス経営塾）

【開催概要】

○日時：2012年2月17日（金）～19日（日）

○場所：ホロタイの郷 炭の家／高田自動車学校（岩手県陸前高田市竹駒町字館44）

○目的：

- ✓ 被災地及び全国での新規事業でソーシャルビジネスの立ち上げを検討している方、あるいは既に事業を展開しているが継続的な経営の難しさを感じている方々を対象に、コミュニティのニーズに合った形、且つ持続的な事業となるためのビジネスモデルを描き、産業復興・雇用創出につながる事業を生み出す。

○参加者：陸前高田の人々8名 陸前高田市外の人々5名 合計13名

○アドバイザー：

横石知二氏（株式会社いろどり 代表取締役社長）

河野通洋氏（株式会社八木澤商店代表取締役社長

/なつかしい未来創造株式会社専務取締役）

竹内伸一（慶應義塾大学経営管理研究科 特任准教授）

坂本文武（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任准教授）

○コーディネーター：服部直子、中野里美、飯石藍

役割：本プログラムの企画・運営サポートおよびSBN関係者や地元事業者等の参加者との事前・事後連絡調整

【議事・実施内容レポート】

<1日目（2月17日）>

1. 被災地視察

- ✓ 気仙沼市街地
- ✓ 陸前高田市街地
- ✓ 生出地区
- ✓ 気仙左官伝承館
- ✓ 旧八木澤商店社屋跡 等

2. オリエンテーション・夜塾

- ✓ 岩手県陸前高田市の事業者がアドバイザーとなり、現在取り組んでいる街の復興に向けてのビジョン・構想から具体的な戦術等を聞き、自身のプランに落とし込むときのポイントを整理する。

<2日目（2月18日）>

1. 地元事業者の話

- ✓ 八木澤商店 阿部史恵氏

2. ケースメソッドセッション

- ✓ 実在するケースを題材に事業化のプロセスを疑似体験し、経営者としてどう判断すべきなのかを議論して自身の事業への気づきを生み出す。

3. 横石氏による「地域プロデュース」についての話・意見交換

<3日目（2月19日）>

1. 事業相談

- ✓ 自身の考えている事業プランを発表し、他セクター・企業・自治体・学校等との連携や事業化に向けたブラッシュアップ